

令和6年度健康くまもと21推進会議 第1回歯科保健部会 議事録	
開催日時	令和6年(2024年)8月23日(金)14:00~16:10
開催場所	市役所 10階会議室
出席者	熊本大学大学院生命科学研究部歯科口腔外科学講座:教授 中山秀樹氏【部会長】 熊本市医師会:副会長 濱田泰之氏 熊本市歯科医師会:会長 渡辺猛士氏 熊本市薬剤師会:理事 米村和広氏 熊本県看護協会:副会長 永野智子氏 熊本県栄養士会:副会長 石橋素子氏 熊本県歯科衛生士会:熊本市支部 監事 佐藤成美氏 熊本市歯科技工士会:専務 田上敬祐氏 熊本市地域包括支援センター連絡協議会:監事 永田智恵子氏 全国健康保険協会熊本支部:企画総務部長 山田浩一氏 熊本市保育園連盟:副理事長 岩男慎治氏 熊本市私立幼稚園・認定こども園協会:第2さくら体育幼稚園園長 中村好郎氏 熊本市小学校校長会:熊本市立杉上小学校校長 古賀久美子氏 熊本市食生活改善推進員協議会:会長 平川恵子氏 熊本市8020健康づくりの会:会長 巻章子氏 健康まちづくりを推進する西区の代表:古川直枝氏
事務局	健康福祉部:石元部長 健康づくり推進課:山下課長、木櫛副課長、迫主幹 口腔保健支援センター:山川審議員、中村技術参事、江頭技術参事、吉武技師
議題	(1) 各団体及び行政の歯科保健に関する取組状況(令和5年度)・・・資料1 (2) 第3次熊本市歯科保健基本計画の評価報告・・・資料2 (3) 第4次熊本市歯科保健基本計画(第3次健康くまもと21基本計画第7章)の紹介及びアクションプラン案の検討・・・資料3 (4) 各団体及び行政の歯科保健に関する取組予定(令和6年度)・・・資料4
配付資料	・次第 ・令和6年度健康くまもと21推進会議歯科保健部会委員名簿 ・令和6年度健康くまもと21推進会議歯科保健部会庁内推進委員名簿 ・資料1 第3次熊本市歯科保健基本計画令和5年度の進捗について ・資料2 第3次熊本市歯科保健基本計画の評価 ・資料3 第4次熊本市歯科保健基本計画アクションプラン(案) ・資料4 第4次熊本市歯科保健基本計画(第3次健康くまもと21第7章)令和6年度の取組について

	・その他資料 成果指標一覧、熊本市食生活改善推進員協議会からのチラシ、 第45回全国歯科保健大会チラシ
--	--

Ⅰ 開会

委員への委嘱状交付及び委員紹介

挨拶 健康福祉部 石元部長

2 内容

議題Ⅰ 各団体及び行政の歯科保健に関する取組状況（令和5年度）について事務局から説明（資料Ⅰ）

【部会長】

第3次歯科保健基本計画の11年間についての評価は議題2で行うが、令和5年度の取組状況等についてまとめているものが資料Ⅰとなる。資料Ⅰについてご質問等はないか。

【委員】

資料Ⅰの P20について、「障がい児（者）入所施設での定期的な歯科検診実施率」が令和5年度に下がっている理由はなにか。また、アンケートの回答率はどうだったのか。

【事務局】

令和5年度に施設に対しアンケートを実施した。そこでお返事をいただいた中で定期的に歯科検（健）診を実施しているところが38.5%だった。

アンケートは17施設中、13施設から回答いただいた。国が指標にしている施設の種類が入所施設であり、その中で回答率が低いと実施率についても低くなる可能性がある。

【委員】

平成23年度の基準値はどう理解したら良いか。スタートの値か。

【事務局】

基準値はその年度の現状値と考えていただきたい。

【部会長】

資料Ⅰの P11について、「20歳代における歯肉に炎症所見を有する者」が大きく変わっていることについて事務局から補足はあるか。

【事務局】

これまでの歯たちの健診でデータをとっていたが、対象者の実数が少なかった。令和5年度は成人歯科実態調査と称して200人ほどの20～30代に対し調査を行った。そのため母数や母集団が異なるためだと考えている。

議題Ⅰについては以上。

議題2 第3次熊本市歯科保健基本計画の評価報告について事務局から説明(資料2)

【部会長】

資料2は11年間の行政・関係団体の皆様の取組をまとめたものである。歯と口腔の健康づくりについて改善したところと、一方で課題解決していないところや目についたところがあると思う。次期計画では強弱をつけて盛り込み、そして新たな気持ちで取り組もうという形になる。

資料2についてご質問等はないか。

【委員】

資料2の P6 について、8020達成率がアンケートと後期高齢者歯科口腔健診の結果に差がある。後期高齢者歯科口腔健診は受診率が低いという状況であるが、その後期高齢者歯科口腔健診の結果とアンケートの結果はどちらが実態に則したものになるのか。

【事務局】

受診率では 1.86%の高齢者となり本人の受診行動も少ない。その点については国保年金課とも協議をしていきたい。また、市民アンケートについてはどうしても回答率の問題がある。今後検討していきたい。

議題2については以上。

議題3 第4次熊本市歯科保健基本計画(第3次健康くまもと 21 基本計画第7章)のアクションプラン案の検討について事務局から説明(資料3)

【部会長】

アクションプランが本日のメインの協議内容となる。令和6年(2024年)から令和17年(2035年)までの12年間で3つに分けて、最初の第1期の具体的な取組を協議していきたい。資料3は、行政や関係団体の皆様から、妊娠期から高齢期に対する取組についてあらかじめいただいたご意見を盛り込んだ資料となる。

資料3に書かれた行政や関係団体の取組について「この取組を追加したい」などのご意見や補足説明があれば頂戴したい。また、言葉の微修正等は事務局に後日言っていただきたい。

それではひとつずつ(妊娠期から)進めていきたい。

●ライフステージの特性に応じた歯科口腔保健の推進(妊娠期及び胎児期)

【部会長】

「産科医療機関における3回目の妊婦健診時に妊婦歯科健診の受診勧奨」について事務局に補足説明をお願いしたい。

【事務局】

妊婦歯科健診を受けてほしいことを産科医療機関にも理解してもらい、本人にもその必要性を伝えるため、妊婦健診の3回目に受診勧奨を行っている。

【部会長】

市薬剤師会の「来局者に定期歯科健診を勧める」というご意見は大変ありがたい。

【委員】

県歯科医師会からいただいたリーフレットを調剤薬局への来局者に渡している。薬の資料と一緒に設置している。

【部会長】

市歯科医師会から「妊婦歯科健診時に母子双方についての歯科疾患に関する啓発を行うよう努める」とあるが、どのようにされるのか。

【委員】

妊婦の歯と口腔の現状や気をつけることを伝えたり、生まれてくる赤ちゃんがむし歯にならないようにどういう行動をとると良いかということを伝えていきたいと思う。

【委員】

(歯科衛生士会では) 啓発チラシとして歯周病予防リーフレットを令和5年度に作成した。妊婦も歯周病予防は大事だという内容を盛り込んでいる。これも調剤薬局に置いていただけたらと思う。また、妊婦歯科健診受診率が低下しているが、妊婦も仕事をしておりあらためて歯科医院に行く時間を確保するのは大変だと思う。職場から妊婦に歯科健診受診を勧めてほしい。

【部会長】

県栄養士会でも低出生体重児出産の予防について、啓発しているのか。

【委員】

すべての方に対して栄養相談を行っている。アクションプラン(妊娠期及び胎児期)を考えた際に「予防」であれば対応できるということでこのような言葉で表現した。

●ライフステージの特性に応じた歯科口腔保健の推進(乳幼児期)

【委員】

「加盟園へのフッ化物洗口の推進としてメールや園長会等で周知」としているが、現状では反対やデメリットを言う園長もおられる。正しく理解してもらうように勧めたい。ブロックごとの園長会(5ブロック)を利用してほしい。保護者からもやめてくれと言われることもあるので、理解していただき洗口を実施する園児数も増やしていきたい。

【委員】

フッ化物洗口を大変だと思っている先生に伝えているが、良くない感触もある。年長のあるクラスでは、自分でコップに入れて自分でラジカセつけて、こども主体ですることもできた。

【委員】

こどもの咀嚼力が弱っているので、その点もアクションプランに入れることを考えていただきたい。よく噛むことでからだも強くなることも伝えていきたい。

【部会長】

高齢者になれば認知症にも関わってくる。アクションプランのどこかに咀嚼のことが出てくれば良いが。

【委員】

情報誌等（栄養士会発行の「りんどう」）での啓発において、むし歯予防や咀嚼機能獲得に関する食育情報に力を入れていきたい。

【委員】

子育てサークル等で手作りおやつレシピを配布している。裏にむし歯予防のポイントも載せている。言っていただければチラシをお渡しできる。

【委員】

保育所や小学校での歯みがき教室が平成の終わり頃から少なくなってきた。我々8020推進員を活用してほしい。

※熊本市保育園連盟・・・アクションプランに「パンフレット配布可能」を追加する。

※熊本市私立幼稚園・認定こども園協会・・・アクションプランに「加盟園へフッ化物洗口実施園から実施効果の紹介と推進呼びかけを実施」を追加する。

●ライフステージの特性に応じた歯科口腔保健の推進（学齢期）

【部会長】

フッ化物洗口の3年生以上の実施について事務局から説明をお願いしたい。

【事務局】

8020健康づくりの会の皆さんなどの協力を得て小学校1～2でのフッ化物洗口が92校実施となった。3年生以上になると生え変わりの時期にさしかかるので、今後は学年拡大ができればと考えている。どのようなやり方であればいいのか、関係課・関係機関と協議していきたい。

【部会長】

教育委員会はいかがか。

【健康教育課】

事務局からも説明があったように、実施方法を協議し、しっかりと検討していきたいと考えている。

【部会長】

キャッチフレーズを「フッ化物健口（けんこう）」と掲げているので、フッ化物を使って健やかな口にしていきたいのでぜひお願いしたい。

【委員】

各学校に薬剤師がいる。医薬品の相談はいつでもしていただきたい。

【部会長】

「フッ素」や「フッ化物」という言葉がある。学校薬剤師がおられると保護者も安心すると思う。

【委員】

1～2年生の実施では乳歯は守れるが永久歯が守れない。県下は全学年しているの、市だけが置いていかなければ良いが。

【委員】

フッ化物洗口については健康づくり推進課、各区保健こども課、健康教育課や8020推進員さん等

のおかげで実施できるようになって、ありがたい。学年拡大に関しては検討をお願いしたい。
また、各学校で学校保健計画をつくり、6月のむし歯予防デーや11月のいい歯の日などにおいて
学校で指導している。8020推進員さんと一緒にしていけるところは一緒にしていきたい。

●ライフステージの特性に応じた歯科口腔保健の推進（成人期）

【委員】

成人期だけでなく全世代だが、（医師会としては）リーフレットなどの配布に協力できる。

【部会長】

行政へ質問だが、高校生などへの新たな啓発物を作成するのか。

【事務局】

この世代に接する機会が少なく、8020推進員や食生活改善推進員が学校へ行くときなど啓発を
お願いしたい。そのためにも新たな啓発資料を考えたい。後ほどご相談させていただきたい。

【部会長】

全国健康保険協会の被扶養者への歯科健診について説明をお願いしたい。

【委員】

被扶養者に対して特定健診とがん検診の同時実施においてオプションで歯科健診をしていくもの
である。市と連携していくもの。検診の場で意識も高まっているので、その場で歯科健診も実施して
いきたいと思う。

高齢期（74歳まで）も対象としているので、アクションプランの高齢期にも入れている。

【委員】

若い人たちに「軽い力でもみがける」などの正しい歯のみがき方を伝えるものがあると良い。

●ライフステージの特性に応じた歯科口腔保健の推進（高齢期）

【委員】

包括支援や自立支援の利用者に口の健康について伝えているが、8020推進員と協力して高齢者
サロンでオーラルフレイル予防などを周知したい。年間計画に口腔の講話を入れている。

【委員】

「りんどう」という栄養士会の情報誌でこれまでも歯科口腔の情報を掲載している。そこで情報提
供できる。

【委員】

訪問看護の際に、アセスメントして口腔ケアを専門家につなぐという取組を行ったり、家族に歯科受
診の必要性を伝えたりしている。

アクションプランに載せた場合、実績などを報告するのか。

【事務局】

取り組めたかどうかのお知らせをいただきたいと考えている。4年間を通して取り組んでいただくも
のになる。

※熊本市地域包括支援センター連絡協議会…アクションプランに「認知症予防」を追加する。

※熊本県看護協会…後日、アクションプランに文言追加予定。

●定期的に歯科検(健)診又は歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健の推進

【部会長】

行政の取組に「歯科検(健)診未実施の施設に対し、アプローチを行い、施設における歯科検(健)診の実施を促す」とあるが、どのようなものか。

【事務局】

施設によっては協力医が歯科検(健)診をしているところもある。まずは施設の状況を把握し、年に1回施設においての歯科検(健)診を実施するためにはどうしたら良いか、考えているところである。

【委員】

歯科検(健)診をどうするか、施設や行政から相談があればいつでもお応えできるように準備しておく。

【委員】

歯科衛生士会も歯科医師会と協力する。

【委員】

障がいのある児は保育所でも預かることがある。そこも考えたが良いか。

【事務局】

そこも大事だが、まずは入所施設から検討していきたいと考えている。

【委員】

栄養ケア・ステーションによる訪問栄養食事指導としているが、障がい児に対しての対応ができるスタッフを今年度から増やしていく予定である。4年間で整備できるようにしていく。

※熊本県栄養士会…後日、アクションプランの文言修正予定。

●誰もが等しく歯と口腔の健康づくりができる社会環境の整備

【委員】

8020推進員養成講座を受講している人は増えているが、高齢に伴い大きく8020健康づくりの会の会員が増えていない。入会した方に対して、いろんな場に出かけてやりがいを感じるようにしていきたい。

【委員】

8020推進員がフッ化物洗口のためだけでなく、8020推進員としてのやりがいを感じることができるよう考えていただきたい。また、自治協議会でフッ化物洗口の状況も報告して地域全体で情報共有する形をつくっている。このように町内が協力的な環境というのも大事だと思う。

【部会長】

町内の取組と8020推進員のやりがいがつながると良い。

【委員】

校区によって活動状況がばらばらである。でも8020推進員になったからには活動を行い、そして活動を報告する場があると良いと思う。以前していた合同研修会をしてほしい。

【委員】

今のような皆さんの思いが十分に伝わっていないと思う。

フッ化物洗口についてもメリットを大きく伝え、こども主体で「自分のために」ということが大切だと思う。

議題3については以上。

議題4 各団体及び行政の歯科保健に関する取組予定（令和6年度）について事務局から説明（資料4）

【部会長】

資料4についてご意見・ご質問等はないか。（無し）

議題4については以上。

その他

【事務局】

第2回の歯科保健部会は書面開催を予定している。準備が整い次第、ご連絡差し上げる。本日はいただいたご意見をアクションプランに反映させ改めて確認していただきたい。

3 閉会